

平成 21 年度 定期大会プログラム

平成 19 年 5 月 23 日の「地理空間情報活用推進基本法」の成立から丸 2 年が経過しました。その間、基盤地図情報の整備や運用体制の検討が始まり、電子基本図についてもその内容が少しずつ明らかになっています。今年度の定期大会は、こうした地図や地理空間情報をめぐる環境変化の中で、重要な意味を持つものと考えます。立正大学大崎キャンパスで行う定期大会では、国土地理院の皆さんによる基盤地図と電子基本図に関する特別セッション、初等中等教育から高等教育における地図教育と GIS 教育に関するシンポジウム、そして地図制作と出版の分野をリードする、株式会社平凡社地図出版の水谷一彦社長による特別講演を企画しました。多くの方々の参加をお待ちしています。

【会場へのアクセス】

立正大学大崎キャンパス 11 号館 5 階 1151 教室・1152 教室 (〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16)
会場は山手通りに面した建物 (11 号館) の 5 階です。

- ・ JR 大崎駅または五反田駅から徒歩 5 分
大崎駅 (山手線・湘南新宿ライン・埼京線・りんかい線)
五反田駅 (山手線・都営地下鉄浅草線)
- ・ 東急池上線 大崎広小路駅から徒歩 1 分



※立正大学ホームページ (http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/index.html) もご参照ください。

【大会参加費】

- 普通会員・特別会員団体構成員：1,000 円
- 学生会員：500 円
- 非会員：2,000 円 (発表論文・資料集代を含む)
- 懇親会費：4,000 円

※地図・図書の展示のみの見学は無料です。

学会事務局：〒153-8522 東京都目黒区青葉台 4-9-6 (財) 日本地図センター内
日本国際地図学会事務局 ホームページ <http://www.jmc.or.jp/gakkai/>
TEL 03-3485-5410 FAX 03-3485-5593 E-mail:gakkai@jmc.or.jp

第1日 8月19日(水) 10:00~17:40

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《研究発表1》	
10:00	0-1 地理空間情報の活用推進に関する実態調査 門脇 利広・南雲 吉久・佐藤 剛・大木 章一 (国土地理院)	30
10:20	0-2 地球地図を使った地球環境の様々な表現方法の考察 小島 脩平・永山 透・梶川 昌三・筒井 俊洋・杉原 祐二・赤塚 太 (国土地理院)・鶴生川 太郎 (環境省)	32
10:40	0-3 月の地形図等の作成 神谷 泉 (国土地理院)・荒木 博志 (国立天文台)・祖父江 真一 (JAXA)	34
11:00	0-4 地理空間情報の時空間化についての検討 小荒井 衛・中埜 貴元 (国土地理院)	36
	《特別セッション》基盤地図・電子基本図	
11:20	S-1 基盤地図情報のグランドデザインについて 鎌田 高造 (国土地理院)	6
11:40	S-2 電子基本図 (オルソ画像) の整備について 山後 公二 (国土地理院)	8
12:00	S-3 電子国土基本図 (地図情報) の整備 石関 隆幸 (国土地理院)	10
	《ポスター紹介》	
12:20	P-1 福岡西方沖地震の被害情報を地図化する試み 黒木 貴一 (福岡教育大学)・磯 望 (西南学院大学)・後藤 健介 (長崎大学)	66
	P-2 日本の地形図等に用いられた多面体図法の投影原理 政春 尋志 (国土地理院)	68
	P-3 児童生徒を対象とした地図作品展の運営とその課題ー「彩の国環境地図作品展」の場合 亀井 啓一郎 (立正大学・非)・原 美登里 (立正大学)・元木 理寿 (鹿児島大学)・鈴木 厚志 (立正大学)	70
	《昼休み》	
12:30	評議員会 (12:30~13:10) 第6会議室 (11号館8階) ポスター発表コアタイム (13:15~13:30)	
13:30	《特別講演》 未来へ展 (ひら) く地図ーアトラス制作に夢乗せてー 水谷 一彦 (株式会社平凡社地図出版)	5
	《研究発表2》	
14:30	0-5 利用者の視点からみたバリアフリーマップ 榊原 友樹 (アジア航測)・熊木 洋太 (専修大学)	38
14:50	0-6 四川大地震・イタリア中部地震の発生と東海・南海地震および宮城県沖地震の予測 野上 純興	40
15:10	0-7 防災地理情報を含む主題図の有効活用に関する検討 中埜 貴元・小荒井 衛 (国土地理院)・宇根 寛 (国土交通大学校)	42
	《シンポジウム1》「地理空間情報時代の地図学・GIS教育」	
15:35	趣旨説明 細井 将右 (地図学教育専門部会主査)	
15:40	Sy-1 東京学芸大学地理学研究室におけるGIS・空間データ時代への対応ー教員養成系大学における地理学の役割ー 中村 康子 (東京学芸大学)	12
16:00	Sy-2 立正大学地理学科における地図学・GIS教育の現状と課題 鈴木 厚志 (立正大学)	14
16:20	Sy-3 首都大学東京地理学教室における地図学・GIS教育の現状と課題 若林 芳樹 (首都大学東京)	16
16:40	Sy-4 国土交通大学校における地図学・GIS教育の現状と課題 宇根 寛 (国土交通大学校)	18

17:00	総合討論	
17:40	終了	
18:00	《懇親会》	

※ 10:00～17:00 地図・図書展示

第2日 8月20日(木) 9:30～17:00

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《研究発表3》	
9:30	0-8 旧版海図と新版海図における表現の差異について－1940年刊行アメリカ海図を基本として－伊藤 等(日本大学)	44
9:50	0-9 沿岸海域環境保全情報の提供について(ESIマップとCeisNet) 足立 静治(海洋情報部)	46
10:10	0-10 航海用電子参考図(new pec)の開発 佐々木 稔・野田 直樹((財)日本水路協会)・八島 邦夫・三浦 真吾(榊武揚堂)	48
	《研究発表4》	
10:30	0-11 地形図から見た町田市成瀬付近の宅地開発の変化 福本 慎弥(国際航業)・熊木 洋太(専修大学)	50
10:50	0-12 世界図投影法のシステム論的考察と地図表現 羽田野 正隆	52
11:10	0-13 オーサグラフによる矩形世界地図 鳴川 肇(オーサグラフ株)・梶川 泰司(シナジェティクス研究所)	54
11:30	0-14 基盤地図情報を用いた地図画像配信サービスの開発と利用 寺元 郁博(近畿中国四国農業研究センター)・二宮 正士	56
11:50	《昼休み》	
	《研究発表5》	
12:50	0-15 中国における外国人の中国地図の作成と取扱いについて 柴田 健一(シービーエス株)	58
13:10	0-16 明治初期ジュルダンらによる『鹿児島湾之図』について 細井 将右	60
13:30	0-17 立正大学田中啓爾文庫および石川与吉文庫の所蔵地図の整理とデジタル化 亀井 啓一郎(立正大学・非)・島津 弘(立正大学)	62
13:50	0-18 地理教育の視点から見た一般図及び主題図の用語の定義に関する考察 小林 岳人(千葉県立沼南高柳高等学校)	64
	《シンポジウム2》「地図で広がる学びの輪－学校でいろいろと地図を使おう」	
14:20	Sy-5 地図で広がる学びの輪－学校でいろいろと地図を使おう 熊木 洋太(専修大学)、津沢 正晴((財)日本地図センター)	20
14:40	Sy-6 小学校から見た地図利用の促進について 中山 正則	22
15:00	Sy-7 国内中学校の事例とイギリスの事例からみた提言 荒井 正剛(東京学芸大学附属世田谷中学校)	24
15:20	Sy-8 世界史教育における地図活用の取り組み 堀井 美穂(芝浦工業大学柏中学高等学校)	26
15:40	Sy-9 スキルとしての地図教育の課題と展望 井田 仁康(筑波大学)	28
16:00	コメント：小中高における地図利用の可能性と提案 田部 俊充(日本女子大学)	
16:20	総合討論	
17:00	終了	

※ 9:30～15:30 地図・図書展示

日本地球惑星科学連合 2009 大会発表ポスターの展示 －「地球惑星科学における地図・空間表現」セッション－

日本地球惑星科学連合が毎年5月に開催する「日本地球惑星科学連合大会」(略称:連合大会)では、地理学や地図学も含む地球惑星科学の各分野の多数の研究発表が行われています。日本国際地図学会は、連合大会で新たに「地球惑星科学における地図・空間表現」というセッションを運営することにしました。第3回目となる今年度の連合大会では、同セッションで8件の研究発表がポスター形式で行われました。より多くの会員に連合大会の発表内容を知っていただけるよう、本定期大会で同じポスターを掲示することを企画しました。掲示予定のポスターは、以下のとおりです。

神谷 泉・荒木博志・祖父江真一：LALTによる月の地形図と余色立体図の作成

小荒井衛・中埜貴元・廣瀬葉子：知床半島羅臼岳での植生三次元構造に基づく航空レーザ植生図作成

佐藤 浩・中埜貴元・宇根 寛：SAR 干渉画像で検出された地表変動解釈のための判読カード作成

中埜貴元・小荒井衛：宅地ハザードマップへの活用を考慮した盛土マップの検討

国土地理院地理調査部・筒井俊洋：地球地図が伝える世界の変容

田中庸夫・大塚 力・南 秀和ほか：陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)による災害状況把握
向山 栄・浅田典親：2時期の詳細DEMを用いた地形画像解析－平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震の事例－

明石敬史・森田 喬：武蔵野台地の強調地形表現